

～ ワクチンで予防できない感染症 ～

シラミのはなし

シラミは、人間の毛の中や衣類に寄生する害虫です。大きく分けると3種類あります。特にアタマジラミは、12歳以下の子どもたちに多く見られます。

主な症状は、皮膚の激しいかゆみです。アタマジラミの感染経路は、直接的な頭部の接触が主な要因です。集団生活の場合、家庭内で寝具、タオル、帽子などを共有することでも感染しますので、共有は避けるようにしましょう。

感染した場合、シラミ駆除専用パウダー剤およびシャンプー剤が市販され、広く使用されています。保育園や小学校などでの発生も各地で毎年あります。日頃から、子どもの髪や行動などの観察を忘れないことが大切です。



本市における予防接種事故の発生件数(実件数)と種類

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
接種間隔の誤り	2	4	1	0
重複接種	0	1	0	0
有効期限切れワクチン	0	0	0	0
ワクチンの種類を誤った	0	0	2	0
接種対象年齢外の者への接種	0	0	1	0

※予防接種を安全で効果的に実施するためには、予防接種を受ける側、実施する側ともに予防接種について十分理解しておくことが大切です。

予防接種過誤はありませんでした。しかし、過去には、過誤接種が起こっています。過誤接種を防ぐために、保護者は医療機関に予約する前や接種する前に、必ず母子手帳で接種履歴や接種間隔を確認しましょう。

毎年8月から9月に複合健診を実施しています。受診を希望する人はお問い合わせください。



健康だより

ワクチンで子どもの感染症を予防しましょう



【問い合わせ先】健康推進課健康推進係 ☎0968(25)7219

感染症には症状の重いものや後遺症が残るものがあります。感染症を防ぐために免疫を作る助けとなるのが予防接種です。赤ちゃんや地域を感染症から守るために、知っておきたい予防接種について紹介します。

子どもを感染症から守るために

人が持つ免疫は、年齢が低いほど未熟です。生まれた直後は、母親からもらった抗体のおかげで風邪などをひきにくいですが、リンパ球や好中球などの細胞免疫は未熟なため、感染症にかかると重症化する場合があります。そのため、赤ちゃん自身で免疫を作って病気を予防する必要があります。その助けとなるのが予防接種です。

予防接種の登場で感染症が減り、近年は大きな被害もなくなりました。そのせいもあってか、最近は予防接種を受けなくても大丈夫だろうという人が増え、接種率が下がっています。このまま下がり続けると、免疫力が低下し、感染症が増え始めるかもしれません。

国民全体の免疫水準を維持するためには、社会全体として一定の接種率を確保することが重要です。

定期接種と任意接種

【定期接種】
予防接種法に基づくもので、A類疾病とB類疾病に分けられます。
・A類疾病 A類疾病は、集団予防が目的で、予防接種を受け

るよう努めなければならぬ努力義務があります。

種類：ジフテリア、百日咳、破傷風、ポリオ、結核、麻疹、風しん、日本脳炎、ヒブ感染症、小児の肺炎球菌感染症、水痘、B型肝炎、ヒトパピローマウイルス感染症
・B類疾病 B類疾病は個人の発症や重症化の予防が目的で、努力義務はありません。
種類：季節性インフルエンザ、高齢者の肺炎球菌感染症

【任意接種】
希望する人が、個人で接種するものです。
種類：ロタウイルス、おたふくかぜなど

接種時期や回数

ワクチンごとに接種する期間(対象年齢)が決まっています。ワクチンによっては複数回の接種が必要です。早くから病気を予防するには、接種できる月齢になったら速やかに予防接種を始めましょう。

予防接種の副反応

ワクチンによる副反応はゼロではありません。副反応の可能性について十分理解した上で接種しましょう。

感染力が強い麻しん(はしか)

海外では今でも麻しんが流行している国があります。国内でも海外からの輸入例を発端に、集団発生が起こっています。麻しんは感染力がとても強く、予防接種を受けないと、多くの人に流行する可能性があります。自分が感染しないためだけでなく、周りの人に感染を広がらないためにも予防接種を受けましょう。

国は、麻しん・風しん予防接種接種率の目標を95%としています。本市での接種率は第1期87%、第2期91.5%(平成27年度実績)と、接種率は伸び悩んでいます。乳幼児期(第1期)1歳～2歳未満、第2期・小学校就学前1年間に、きちんと2回接種することが重要です。

予防接種の間隔を防ぐために

近年、新しいワクチンの定期接種が増えていきます。特に小児の定期予防接種は、乳幼児期に接種が集中しており、ワクチンの種類によって接種間隔や接種回数が異なることなどから、接種間隔の誤りやワクチンの種類の誤りなどの過誤接種が生じる可能性があります。本市では、平成28年度の予

献血にご協力ください

とき 7月4日(火) 午前9時30分～正午

ところ 旭志公民館

内容 400ml献血

薬を飲んでいない人でも献血できる場合があります。会場で医師が判断しますのでご相談ください。献血の安全性向上のため、運転免許証やパスポートなどで本人確認をお願いしています。献血カードを持っている人は一緒にお持ちください。HIV検査目的の献血はお断りしています。HIV検査は菊池保健所(☎0968(25)4138)で行ってください。無料・匿名で検査を受けることができます。

歯ツピーキッズ

3歳児健診時「むし歯なし」の子

5月12日・26日の歯科検診の結果で、むし歯がなかったお子さんを紹介します。(敬称略)

- 池田 稜 (菊) 花房台
- 岩根 恋音 (菊) 北原
- 八並 暖人 (菊) 上長田
- 緒方 元晴 (菊) 辻
- 武石 柊麻 (菊) 大琳寺
- 井手 優華 (菊) 戸豊水
- 末吉 優希菜 (菊) 北宮
- 園木 心結 (菊) 野間口
- 山崎 鯉一 (菊) 築地
- 津留 俊翔 (菊) 袈裟尾
- 島田 明香里 (菊) 遊蛇口
- 豊住 明凜 (菊) 深川
- 中津 遥馬 (菊) 巨
- 中結 依那 (菊) 生味
- 國友 梨佳子 (菊) 花房台
- 深田 蒼生 (菊) 花房台
- 小田 清正 (菊) 太田
- 横田 耕生 (菊) 朝日団地
- 松川 悠 (菊) 佐野
- 杉本 翼 (菊) 富の原中央
- 永田 隼基 (菊) 村吉
- 永田 ゆいな (菊) 永
- 實田 結衣嘉 (菊) 富

むし歯を予防するためには

- 1 むし歯菌を減らすための毎日の仕上げみがき
- 2 甘いものを減らしたおやつのお工夫
- 3 歯の質を強くするための定期的なフッ化物塗布

家族ぐるみでむし歯予防に取り組み、健康な歯を保ちましょう。今回むし歯があったお子さんは、なるべく早く歯科医院を受診しましょう。

